

北海道産業人材育成連携会議

「食品工業人材育成ワーキンググループ」における検討状況について

現状と課題

- 食品工業は、本道における重要な産業の一つであるが、原材料、生鮮食品としての供給源的な性格が強く、低次加工にとどまっており、地域資源を活用した加工食品づくりが求められている。また、有効求人倍率が高く、慢性的な人手不足の状況。
- 生産管理、品質管理技術の向上や製品開発など技術力の向上といった付加価値の向上が課題。また人手不足の解消も重要。

検討テーマ

- ◎経営者の意識改革
 - 【経営者の意識改革の促進】
 - ・食の安全・安心を確立するための取組の検討
 - ・その他の支援策の検討 等
- ◎技術系人材の育成
 - 【付加価値の高い売れる商品づくりに向けた技術系人材の育成】
 - ・付加価値の高い商品づくりに向けた人材育成の検討
 - ・生産管理、販路拡大等営業力強化に向けた人材育成の検討
 - 【技術者の資質向上】
 - ・技術力向上に向けた研究機関等との連携の検討 等
- ◎次代を支える担い手の育成・確保
 - 【地域の食品工業の重要性に対する意識啓発】
 - ・食品工業に対する理解促進の取組の検討
 - ・食品工業の人材確保に向けた取組の検討 等

H 2 1 取組内容

- 経営者の意識改革
 - ①食の安全・安心セミナーの開催《食品産業人材育成・確保事業（道）》
- 技術系人材の育成
 - ①生産管理技術導入トレーニング・ゼミの開催《食品産業人材育成・確保事業（道）》
 - ②食品技術者養成講座の開催《食品産業人材育成・確保事業（道）》
 - ③技術講習会、研修生の受入れ《食品加工研究センター（道）》

H 2 2 に向けた検討の経過

- 現状把握
 - ・地域においては重要な産業。
 - ・人手不足、企業規模が小さく、経営基盤が脆弱。
 - ・経営規模が小さい経営者一人に負担がかかって、製品開発や販路拡大ができない
 - ・従業員への研修ニーズは潜在的に存在。
- 課題等
 - ・作ってからどう売るかではなく、どう売れるものを作るかという発想の転換が必要。
 - ・商品開発は、さらに高次加工をして作っていくという姿勢が重要。芽を育てることが重要。
 - ・後継者の育成は重要な課題であり、経営者に対して、後継者を育てる手法・意識づけをすることが必要。
 - ・経営者の意識改革が重要で、後継者がいない場合、今後は合併なども視野に入れる必要がある。
 - ・いわゆる 3 K 職場と言われる現場の見学会をやってみてはどうか。

H 2 2 取組方向のイメージ

- ・後継者育成に向けた取り組みの実施
- ・3 K イメージ払拭のための見学会の実施
- ・人手不足解消に向けた取り組みの実施

など

WGメンバー

(社)北海道冷凍食品協会、北海道水産物加工協同組合連合会、(株)日本政策投資銀行北海道支店、北海道商工会連合会、(独)中小企業基盤整備機構北海道支部、(独)雇用・能力開発機構北海道センター、(財)北海道中小企業総合支援センター、北海道経済産業局、北海道労働局、北海道（食品加工研究センター、産業振興課、人材育成課）

開催実績

21年度第1回WG H21. 9. 29